

冬のキーンと透き通った感じの空気は好きなのですが、思わず「寒い!!」と口から出る日が続いています。降った雪もあちこちに残っていますが、暦の上ではもうすぐ春。陽の光もだんだん暖かくなっていくことでしょう!

ところで、1月最後の日の皆既月食・スーパー・ブルー・ブラッドムーンはご覧になりましたか? オレンジ色のお月様は神秘的でしたね。



インフルエンザ流行中

1月中旬から全国的にインフルエンザが大流行。A型に加えて、例年2月~3月にかけて流行することの多いB型が非常に多く、特に軽症なタイプが多いことから気が付かないうちに広まっていることが要因でしょうか?

テレビなどでは「隠れインフル」なんて言葉も出てきて、実際、37度台の微熱や、昨夜は39度あったが今日は平熱、という例でも検査すると陽性になってしまう例もあります。感染が広まると困る園や学校では、どうしても「インフルエンザかどうかははっきりさせて」となりがちで、見た目だけでは判断のつかない軽症例が多いと医療サイドもついつい検査が多くなってしまふこの頃。

でも、ちょっと待って! インフルエンザはもともと数日寝ていれば自然に治るもの。昨今のインフルエンザ診療って過剰になりすぎでは? 2000年頃から抗インフルエンザ薬、その後インフルエンザ迅速検査キットができ、出席停止の期間も細くなり…。この時期、熱が出たら検査をせざるを得ない状況になってしまいました。もう少し、世の中緩くならないかなあ~と思ってしまふこの頃です。

確かに高熱で苦しむ姿はかわいそうですし、脳炎や脳症、突然の呼吸障害など怖い合併症もあります。今シーズン、A型で急速に呼吸障害が出現したお子さんを診ましたし、B型でタミフルやリレンザ・イナビルを使っても5日以上熱が続いているお子さんも何人かいます。でも、大多数の人は軽症で、2-3日で解熱しているようです。抗インフルエンザ薬も1日程度発熱期間を短縮するだけであり、特にB型についてはあまり効果を実感できません。

過剰に騒ぎすぎず、罹ってしまったら暖かくして家で休み、流行が収まるのを待ちたいものです。

ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン

子宮頸がん予防ワクチンとして認可された HPV ワクチンですが、接種後、身体に異常が出現したお子さん達が出たことから、積極的接種勧奨が見あわされたままです。しかし、現在も定期予防接種として接種は可能であり、厚労省からリーフレットも出ましたので、ご希望の方はご相談下さい。
対象：小学6年~高校1年女子

3歳児検尿&腎超音波検査

市の3歳児健診に行くと、尿検査がありますが、何のためにやっているのでしょうか? この年齢では、慢性腎炎などの頻度は低く、検尿の最大の目的は、生まれつきの腎臓の形態的な異常を見つけることです。現在の日本では、小児期に腎不全になる多くは、生まれつきの腎臓の奇形が原因となっており、これを早期に発見して適切な管理をすることにより、腎不全への進行を防ぐor遅らせることが目標です。

本来なら、尿検査の代わりに全員に腎臓超音波検査を行うのがよいのですが、設備的・マンパワー的にも難しいため、尿検査で蛋白尿などの異常がないかチェックし、異常がある場合に医療機関で超音波検査などを行うように勧められています。尿検査だけで異常を発見するのは限界もあるのですが、市の検尿で異常が指摘された場合は、受診してください。

当院では火曜日に乳児健診をしていますが、その際、原則として腎臓の超音波検査も実施しています。生まれつき片方しか腎臓がなかったり、大きさが小さい腎臓だったり、水腎症だったり、そういった異常がないかを見ています。

感染症流行状況

前述のようにインフルエンザが大流行中です。

感染症	人数(人)
溶連菌	17
アデノウイルス	5
RSウイルス	1
ロタウイルス	0
マイコプラズマ	6
インフルエンザA	53
インフルエンザB	179

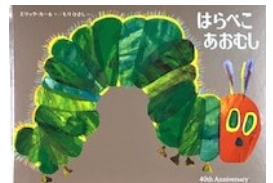
(2018. 1. 5~ 1.27)

今月の一冊

「はらぺこあおむし」

エリック・カール 作

(日本語40周年記念版)



日曜日の朝に生まれた小さなあおむしは、おなかがぺっこぺこ。月曜日にはりんごをひとつ、火曜日にはなしをふたつ…。たくさん食べて太っちゃになったあおむしは、さなぎになり、美しいちょうちょに変身します。

初版は1969年。時代を超えて世界中の子ども達に愛されています。(T.K.)

今月の予定

- 2月4日(日) 午前JAとりで総合医療センター 救急外来担当
- 16日(金) 守谷市1歳6か月児健診
- 22日(木) 常総市3歳児